

月刊 しばうら

2025 年 5 月号

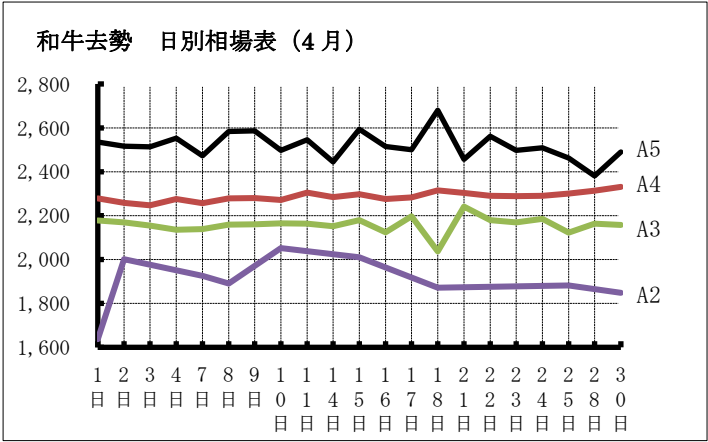
牛肉営業部

＜4 月の相場動向＞

4 月は例年、ゴールデンウィークを控え、焼き材の需要が増え、相場が上昇する傾向にある。しかし、物価高騰による消費者の節約志向は依然として強く、高価格帯の和牛 5 等級の需要は低調だった。

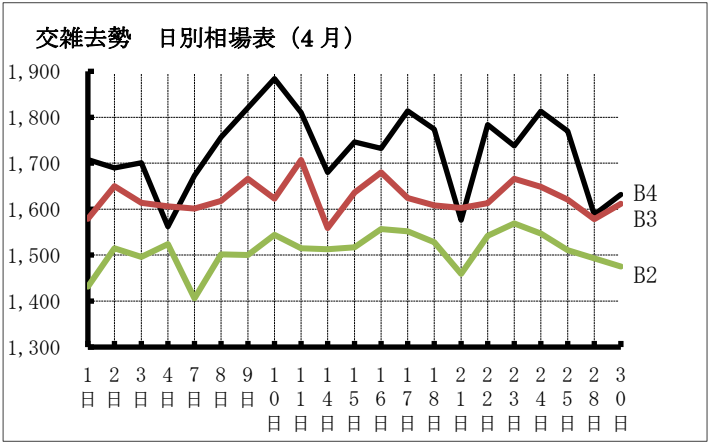
一方で、比較的低価格の和牛中低位等級や和牛経産は、量販店や飲食チェーンの需要が集中し、相場は上昇。結果として、和牛 2、3、4 等級の価格は前年同月比・前月比ともに上回った。

交雑牛も、上旬は慎重な買いが続いたが、中旬以降は例年並みの在庫を確保する動きが強まり、相場は上昇し、前年同月比・前月比を上回る展開となった。



和牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,533 円	+10 円	100.4%	-18 円	99.3%
A4	2,282 円	+97 円	104.4%	+7 円	100.3%
A3	2,166 円	+118 円	105.8%	+29 円	101.4%
A2	1,918 円	+253 円	115.2%	+70 円	103.8%



交雑去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,755 円	+47 円	102.8%	+152 円	109.5%
B3	1,625 円	+18 円	101.1%	+107 円	107.0%
B2	1,515 円	+15 円	101.0%	+107 円	107.6%

乳牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	—	—	—	—	—
B2	1,192 円	—	—	+35 円	103.0%

＜5 月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した輸入通関実績によると、3 月の輸入量は前年同月比 19.3%減の 3 万 968 t で、うちチルドは 26.5%減の 1 万 3,356 t、フローゼンも 12.8%減の 1 万 7,613t となり、ともに前年同月比及び前月実績を下回った。国別にみると豪州は 1 万 3,933t。チルド・フローゼンともに大きく減少した。

農畜産業振興機構によると 4 月の牛肉輸入数量は、前年同月比 10.9%減の 5 万 6,300t（チルド 18.6%減・冷凍 7.8%減）、5 月は 9.1%減の 4 万 4,100t（チルド 8.8%減・冷凍 9.2%減）と予測している。輸入牛肉については現地価格の高止まりと、チルドは主要国からの輸入量の減少が見込まれること等から、4 月はかなり大きく前年同月を下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		3 月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	6,630	9,890	67.0%
	米国	5,441	6,936	78.4%
	その他	1,285	1,356	94.7%
	合計	13,356	18,182	73.5%
フローゼン	豪州	7,304	8,155	89.6%
	米国	5,978	6,572	91.0%
	その他	4,331	5,465	79.2%
	合計	17,613	20,192	87.2%

出典：食肉速報

単位：t

＜5 月の全国出荷頭数予測＞

農畜産業振興機構による 5 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 97.0%の 8 万 5,800 頭で、品種別にみると和牛は 0.9%減の 4 万 1,900 頭、交雑種は 1.2%増の 2 万 900 頭、乳用種は 7.7%減の 2 万 2,400 頭と予測している。東京食肉市場の 5 月のと畜頭数は 6,950 頭を予定しています。

＜5 月の牛枝肉相場見通し＞

今年のゴールデンウィークは飛び石連休である影響から、人の移動は例年より少なくなると予想されている。そのため、安近短志向のバーベキュー需要に加え量販店、外食需要が伸びると考えられる。

ゴールデンウィーク明けの相場は、和牛は低価格帯の部位に注文が偏るとみられ、下値は安定するものの大幅な上昇は難しいと予測される

交雑種は連休前よりはやや弱含むが、輸入牛肉の入荷遅れの影響で下位等級は比較的堅調な相場となる見込み。また、ホルスタイン種は出荷頭数の減少が続くため、相場が引き締まると予想される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,300～2,550	B4	1,650～1,750
A4	2,200～2,350	B3	1,500～1,650
A3	1,900～2,100	B2	1,400～1,500
A2	1,800～1,900		
乳牛去勢			
B3	1,200～1,300		
B2	1,100～1,200		

豚肉営業部

3 月の全国と畜頭数は 135 万 2,997 頭(前年同月比 1.3%減)と前年を下回った。また、3 月の豚肉通関数量は 6 万 6,004t（前年同月比 11.3%減）と前年を下回り、前月比では 8.3%の減少となった。内訳はチルドが 3 万 3,466 t（前月比 1.6%減）、フローゼンは 3 万 2,539t（同 19.4%減）となった。

2024-2025 年の需給量と推定期末在庫						
	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
3	77,333	74,351	23,117	166,119	75,518	73,918
4	78,976	98,780	22,670	174,059	79,317	90,840
5	76,183	94,087	24,239	189,925	74,520	78,221
6	66,310	81,660	24,750	193,156	65,692	78,429
7	71,679	86,155	23,227	195,529	73,101	83,782
8	65,651	84,078	22,108	200,290	66,675	79,317
9	68,773	78,666	21,580	201,197	69,219	77,759
10	7,9625	86,742	21,384	201,922	79,699	86,017
11	78,361	78,216	21,389	194,797	78,249	85,341
12	80,661	76,518	22,458	185,736	79,425	85,579
1	79,908	80,505	23,536	190,508	78,746	75,733
2	72,607	71,911	24,121	192,819	71,884	69,600
3	76,052	65,956	24,424	192,115	75,606	66,660
比	98%	89%	106%	116%	100%	90%

出典：農畜産業振興機構

比：最終月の前年同期比

単位：t

3 月 豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	12,373	85.6%	デンマーク	1,577	31.5%
カナダ	17,328	114.6%	スペイン	9,143	81.1%
メキシコ	3,763	84.7%	メキシコ	3,606	58.6%
			アメリカ	3,554	68.9%
			カナダ	2,194	57.8%
合計	33,466	98.4%		32,539	80.6%

単位：t

＜4 月の豚取引の推移＞

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1 日	61,300	604	585	945
2 日	62,000	623	581	800
3 日	62,800	595	568	1,007
4 日	60,700	613	585	1,031
7 日	59,700	596	576	898
8 日	63,800	606	575	1,108
9 日	60,600	598	575	835
平均	61,557/日			946/日

新年度に入り関東でも桜が満開となった。花見などの行楽需要によって豚肉の販売への期待が膨らんだものの、天候の崩れと気温の低下により、消費者の需要はやや鈍る結果となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10 日	63,700	578	556	952
11 日	62,600	573	551	1,124
14 日	62,300	556	539	962
15 日	65,400	577	572	917
16 日	63,900	580	552	874
17 日	64,000	572	553	982
18 日	61,900	587	564	985
平均	63,400/日			971/日

気温の上昇に伴い、出荷頭数は減少傾向を示し、全国のと畜頭数は 6 万頭台前半で推移した。末端消費は依然として低調で、枝肉相場は上物価格 600 円を割り込む軟調な展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21 日	62,200	589	565	1,031
22 日	65,300	611	592	973
23 日	65,300	622	603	784
24 日	64,700	616	569	977
25 日	62,900	623	587	985
28 日	69,900	634	606	793
30 日	69,500	629	605	932
平均	65,686/日			925/日

ゴールデンウィーク前の手当てに加え、西日本での枝肉相場高騰の影響を受け、東京でも相場が上物価格で 600 円を超え、相場は上昇傾向を示した。

＜5 月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による令和 7 年 5 月の肉豚出荷予測では 133 万 9,000 頭（前年比 98.4%）と予測している。当市場の 5 月集荷予定せり頭数は 1 万 7,500 頭、1 日あたりでは約 875 頭を見込んでいます。

農畜産業振興機構によると 5 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 8 万 2,300t（同 87.5%）、内訳は冷蔵輸入量が 3 万 1,600t（同 94.2%）、冷凍輸入量は 5 万 700t（同 3.7%）と予測。

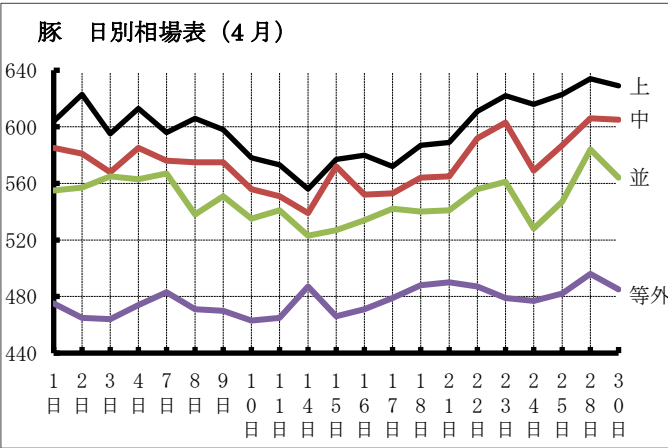
冷蔵品輸入量は、円安や現地相場高の影響等により米国産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をやや下回ると予測する。また 3 カ月平均でも前年同期をやや下回ると予測する。

冷凍品輸入量は現地相場高の影響等により、主要輸入先のうち北米産や欧州産の減少が見込まれること等から大幅に前年同月を下回ると予測する。同様に 3 カ月平均でも前年同期をかなり大きく下回ると予測する。

5 月はゴールデンウィーク明けの出費の反動や、コメ価格などの生活必需品の値上がりの影響を受け、豚肉需要は引き続きスソ物やミンチ材が中心となると考えられる。そのため、ロースを中心に中部位の引き合いは、国産・輸入ともに苦戦することが予想される。

供給見通しについては、断続的に発生した CSF（豚熱）やその他の疾病の影響、昨年の猛暑による繁殖率低下などが要因となり、連休明け以降の出荷頭数は減少傾向になると予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は 630 円前後、中物平均価格 600 前後の展開と予測する。



東京都港区港南2－7－19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>